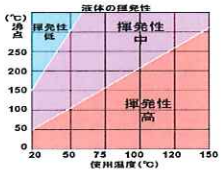


化学物質リスクアセスメント記入シート 健康障害防止

作業場所等, リスクアセスメント実施日, シート記入者

① 有害性レベル (有害性: 低い ← 有害性 → 高い)

② 作業環境レベル



取扱量 (大, 中, 少) 液体, 粉体

封じ込めレベル (a. 密閉設備, b. 局所排気装置)

揮発性・飛散性 (高, 中, 低) 液体, 粉体

SDS「9.物理的及び化学的性質」を参照

作業環境レベル (取扱量, 揮発性・飛散性)

① 有害性レベル +S

修正ポイント (+1: 作業者の白衣、保護具、手足が当該物質で汚れる)

SDS「2.危険有害性の要約」を参照

③ 年間作業時間

年間作業時間計算 (時間/日, 回/年, 時間/年)

④ ばく露レベル (修正作業環境レベル)

⑤ リスクレベル (ばく露レベル)

⑤ リスクの判定 +S

⑤ リスクレベルの意味 (5: 耐えられないリスク)

リスクの抽出・特定 (アセトン, メタノール, 標本作製)

化学物質リスクアセスメント 記入シート	作業場所等	リスクアセスメント実施日	シート記入者
爆発・火災防止用	練習・演習 解答		

① 爆発の三要素 RA終了と続行の判断

可燃物	有 無	全部 有 (○) → RA続行
空気	有 無	無 (×) がある → RA終了
着火源	有 無	

リスクアセスメントを実施しますか? NO → 終了 YES → ②へ

② 1次評価点 (ランク)

		大 ← 危険性 → 小
		6 4 2 1
爆発性	等級 1.1-1.6	
可燃性・引火性	区分 1	2
エアゾール	区分 1	2
支燃性・酸化性ガス	区分	1
高圧ガス	区分	
引火性液体	ガス 区分 1	2 3 4
可燃性固体	区分	1, 2
自己反応性化学品	タイプ A-B	C-F
自然発火性液体	区分 1	
自然発火性固体	区分 1	
自己発熱性化学品	区分 1	2
水反応可燃性化学品	区分 1	2, 3
酸化性液体	区分	1, 2, 3
酸化性固体	区分	1, 2, 3
有機過酸化物	タイプ A-D	E-F G
金属腐食性物質	区分	1
初じん爆発 (粒径: μm)		0.01 0.1 1.0

③ P 危険源要素の発生の可能性

条件によって、1次評価点のランクを上げる

取扱い温度	沸点	℃
	引火点	℃
	発火温度	℃
1次評価点をそのまま (例: 2-2)	取扱い温度 < 沸点	引火点
1次評価点を1つ上げる (例: 2-4)	取扱い温度 > 沸点	引火点
ランクを2つ上げる (例: 2-6)	取扱い温度 > 発火温度	

④ F 取扱いの量や頻度について

評価点	量や実施頻度
4	大量 t KL 毎日1回以上
3	中量 kg L 週1回以上
2	少量 g mL 月1回以上
1	微量 mg μL 年に数回

⑤ S 影響の重篤度

S: 想定される人的被害の程度

評価点	重篤度	ケガ	人数 (範囲)
10	致命傷	死亡	フロア全体
8	重傷	永久的労働不能 入院・障害 休業1ヶ月以上	室内全員 (重傷者有り)
6	負傷	通院 休業4日以上	室内全員 (重傷者無し)
3	軽傷	受診 休業3日以内	2人
1	微傷	手当後作業に復帰	1人

⑥ RP ⑦ RR

RP	RR	リスクレベルの意味
16 ~ 20	5	耐えられないリスク
13 ~ 15	4	大きなリスク
10 ~ 12	3	中程度のリスク
7 ~ 9	2	許容可能なリスク
3 ~ 6	1	些細なリスク

SDS「2.危険有害性の要約」を参照

リスクの抽出・特定

物質名 (CASNo.)	① 爆発の三要素		RA 続行 終了	② 1次評価点	温度等		③ P 2次評価点	④ F 量・頻度	⑤ S 影響の重篤度	⑥ RP リスクポイント	⑦ RR リスクレベル	リスクの低減対策
	三要素がある→○なし→×	全部○続行×あり終了			取扱い温度	沸点						
物質名 アセトン CASNo. 67-64-1 染色作業	可燃物 ○ 空気 ○ 着火源 ○	○ or ×	続行 終了	4	取扱い温度 20 °C 沸点 56 °C 引火点 -20 °C 発火温度 465 °C		6 + 3 + 3 = 12	3				
物質名 メタノール CASNo. 67-56-1 標本作製	可燃物 ○ 空気 ○ 着火源 ○	○ or ×	続行 終了	4	取扱い温度 20 °C 沸点 65 °C 引火点 12 °C 発火温度 464 °C		6 + 3 + 3 = 12	3				
物質名 CASNo. 工程名・作業内容	可燃物 空気 着火源	○ or ×	続行 終了		取扱い温度 °C 沸点 °C 引火点 °C 発火温度 °C		+ + =					
物質名 CASNo. 工程名・作業内容	可燃物 空気 着火源	○ or ×	続行 終了		取扱い温度 °C 沸点 °C 引火点 °C 発火温度 °C		+ + =					
物質名 CASNo. 工程名・作業内容	可燃物 空気 着火源	○ or ×	続行 終了		取扱い温度 °C 沸点 °C 引火点 °C 発火温度 °C		+ + =					